

2021年度 子育て中の心理職のための オンライン・コンサルテーション・グループ

子育てと仕事の両立はどのような職種でも簡単なことではないと思います。とりわけ臨床の専門職の場合は、実践の力をつけるためにどのように研修や訓練を生活に取り入れていくのかは大きな課題ではないでしょうか。経済的・時間的な問題、家族の協力など様々な問題が関連してきます。とりわけ子どもが幼いうちは、研修を受ける機会も少なく、あるいはほとんどなく、実践している臨床に不安を抱くことも多くあるのではないのでしょうか。

今回、子育てをしながら仕事をする中で、定期的な研修に行くことが難しい方を対象に、ZOOMを使用したコンサルテーションの小グループを企画いたしました。ご家族の協力は必要ですが、月に1回外出せずに、臨床実践を検討する機会をつくってみませんか。

個別のセラピーやカウンセリングのケース、スクールカウンセラーや病棟・デイケア・施設などの他職種連携が困難なケース、あるいは職場でよりよく機能するための動き方など、臨床的な実践を振り返る必要があると感じるものは、どれも重要な検討事項となるでしょう。必ずしも明確な答えがない臨床の中で、グループで知恵を出し合い、私たち自身が生き残りながら、経験から学ぶ機会を共有できればと考えています。

対象：5名（臨床歴は問いません）。臨床心理士・公認心理師・資格取得を目指している者。
臨床実践の場所、内容は問いません。⇒**現在あと1名ご参加いただけます。**

費用：3000円（1回）。銀行振り込み（1年分・分納可）

日程：第3金曜日、19時45分～21時45分（2時間）、年10回程度。
4/16、5/21、6/18、7/16、9/17、10/15、11/19、12/17、1/21、（3/18：予備日）

※Microsoft Teamsを使用します。

申し込み方法：counseling_office_sy@yahoo.co.jp までご連絡ください。

※「子育て中の心理職コンサルテーション・グループ希望」というタイトルで、①氏名（ふりがな）、②現在の職種・臨床歴（年数）、③メールアドレス（PC）、④電話番号（緊急時のみ使用）、⑤検討したいこと（100字程度）をお伝えください。

※臨床心理士の更新に必要なポイントを取得できる継続研修会に申請いたします。

オーガナイザー：吉沢伸一

2004年青山学院大学大学院を卒業。臨床心理士。公認心理師。
子どもの精神分析的心理療法士（認定NPO法人 子どもの心理療法支援会）。

現在、ファミリーメンタルクリニックまつたにて、主に力動的な観点から、こどもと思春期・青年期、成人の心理療法、思春期の集団精神療法を実践している。

これまで非常勤で、公立小・中学校のスクールカウンセラー、適応支援教室、不登校児への訪問相談員、総合病院の精神科思春期デイケア、精神科病院、専門学校の学生相談、大学兼任講師・専門学校講師、開業心理相談室で勤務した経験がある。

■共著

『精神分析/精神科・小児科臨床セミナー 総論：精神分析的アセスメントとプロセス』（木部則雄編著：福村出版）
『新訂増補 パーソナリティ障害の精神分析的アプローチ—病理の理解と分析的対応の実際』（松木邦裕・福井敏編著：金剛出版）
『スクールカウンセリングの「困った」を解決するヒント48』（菅野純監修、菅野恵・藤井靖編著：大修館書店）
『ここに寄り添うということ—子どもと家族の成長を支える心理臨床』（松谷克彦・吉沢伸一編著：金剛出版）

■共訳書

『子どものこころの生きた理解に向けて—発達障害・被虐待児との心理療法の3つのレベル』（松谷順子監訳：金剛出版）
『心的変化を求めて：ベティ・ショセフ精神分析ワークショップの軌跡』（松木邦裕監訳：創元社）